いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です ふたたび

No.２１４
２０２５（令和７）年１月１０日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

教育委員リレーエッセイ

『　新しい年を迎えて　』

今金町教育長職務代理者　　小野　嘉代子



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、元旦から様々な出来事が起きた一年でした。

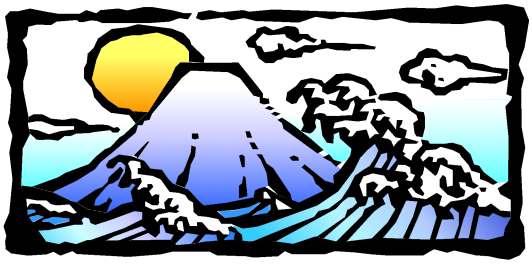
能登半島地震から一年が経ち、未だに仮設住宅等で生活されている方々がいる中、平穏な生活を送ることが出来ることに感謝の思いです。

感謝を表す言葉の一つ「ありがとう」

平穏な生活を送っていると、人・出来事・物などに対して、いつしか「当たり前」のように流してしまっているのではないか･･･と反省（今どき言葉で表すと「超反省」）

今年は･･･今年こそは、１月１日のポジティブな思いを１２月３１日まで持ち続けられたらと思う自らの願いと、皆様にとって良い一年でありますように願いをこめて･･･「いつもありがとうございます」

そして、冬休みを終えた子ども達が、皆元気に登校する姿を楽しみに、今年もどうぞよろしくお願いいたします。



令和7年
昭和100年

１２月３０日の勤務が終わって仕事納め。新しいことがやってくるというワクワク感をもって迎えた新年もあっという間に１０日が過ぎようとしています。

以前、若い頃は先のことなどは、さほど現実感を持って考えることもせずに、やり直しはいくらでも利くと目の前の事に向かっていったものだけれど、最近はさすがに、これまで生きてきた以上は生きないなあ･･･ともぼんやり思うことがあり。

でも夢、やるべきことはまだまだあります。関係する子どもがみんな学校を居場所にすること。みんなの爽やかで明るい笑い声の響く授業、教室。シニア層が生きがいを感じる学びの環境等々。これらが皆出来なければ自分は満足できないでしょう。



昭和１００年となる今年、令和７年。人情や高度経済成長といった昭和のノスタルジーは良しとして、最近気になる領土や鉄といったきな臭い争いの時代はちょうど区切りにして。絶対に良い年にしていかなければ。国家プロジェクトのラピダスもあるし。そういう意味で今年は大きな一年になると思っています。どうかみんなが幸せに。